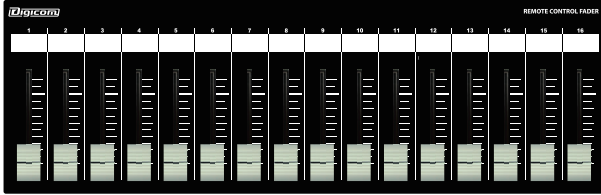




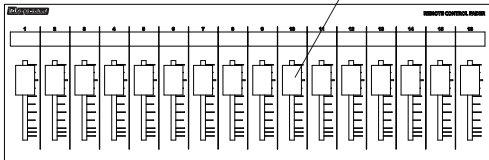
Power over Ethernet Fader for Q-SYS Core

LF16Q-PoE

取扱説明書



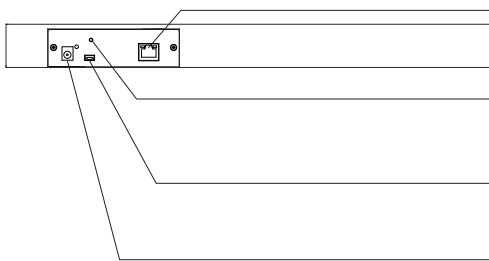
■フロントパネル



フェーダー

16ch分のボリュームコントロールができます。
Q-SYS CoreのコントロールしたいパラメーターのNamed Controlsを設定してください。
LF16Q-PoEのch1で操作する値のNamed Controlsの名称をdigicom_fader101
LF16Q-PoEのch2で操作する値のNamed Controlsの名称をdigicom_fader102
以下同様に116までとなります。

■リアパネル



RJ45端子

Q-SYS Coreのコントローldataを出力します。

M3ネジ穴

DCプラグの抜け防止等に使用してください。

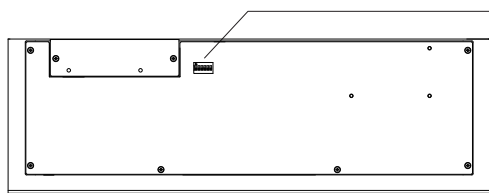
USB端子

ファームウェアアップデート用です。使用しないで下さい。

DC IN端子

接続機器がPoE給電非対応の場合は、付属品のACアダプターを接続してください。
※PoE給電を受けている場合は、ACアダプタを接続しないでください。

■ボトムパネル



DIPスイッチ

- ・ LF16Q-PoEとQ-SYS Coreを1対1で接続する場合、全てのDIPスイッチをOFFに設定してください。
- ・ 1台のQ-SYS Coreに対してLF16Q-PoEを複数台接続する場合、DIPスイッチの設定が必要となります。設定方法はP2をご参照ください。※複数台での接続は4台まで動作確認をしております。



IPアドレスについて(必ずお読みください)

LF16Q-PoEのIPアドレスは192.168.0.168に設定されており、DHCP非対応です。
初期設定でIPアドレス192.168.0.100のQ-SYS Coreをコントロールすることができます。
Q-SYS CoreのIPアドレスを変更する場合は音響特機様までご連絡ください。
LF16Q-PoEのIPアドレスを変更する場合や、コントロール先のQ-SYS CoreのIPアドレスを変更した場合は同封の「フェーダーのIP設定方法」をご確認ください。

仕 様

出力端子	:RJ45
伝送規格	:TCP
イーサネット規格	:10/100BASE-T
PoE受電	:IEEE802.3af
IPアドレス初期値	:192.168.0.168
IPポート初期値	:1702
電源電圧	:9V / 0.3A
付 属 品	:ACアダプター
塗 装	:半艶黒
サイズ	:W410×D132×H36
重量	:2.2kg

■商品に関する注意事項

持ち運びする際、移動時に強い衝撃を与えないで下さい。
水のかかる場所や直射日光が当たる場所での長時間の使用は避けて下さい。
海浜部、温泉地帯など金属のさびやすい場所では本体や取付金具の耐久性が低下する場合がありますのでご注意下さい。
ラックマウントして扱う場合、正しく設置しないと落下する恐れがあります。
機材を引き出した状態で上下から負荷をかけますと事故や怪我の原因となります。
D-RACK1など引き出し付きの機器を収納する際、指を挟まないように注意して下さい。
万が一異音や異常、熱をおびた場合はすぐに使用を中止し電源を切り、メーカーまでご連絡下さい。

■保障に関して

本機にはシリアル番号で製造、出荷年月日が管理されておりますので、保証書は添付されていません。
万が一、故障した場合は製造日より1年間は無償で修理いたします。
※使用方法の誤りにおける破損・故障に関しましては有償となります。また、不適切な使用や改造による故障や怪我は補償いたしかねますのでご了承下さい。

■損害に対する責任

この商品の使用、または使用不能によりお客様に生じた損害については、当社は一切その責任を負わないものとします。
また如何なる場合でも当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになった商品の代価相当額をもってその上限とします。

お問い合わせ

有限会社Digicom

〒454-0012 愛知県名古屋市中川区尾頭橋3-11-15
TEL:052-324-8385 FAX:052-324-8386
E-Mail:info@e-digicom.co.jp
http://e-digicom.co.jp/

製品サポート



音響特機株式会社

東京都中央区日本橋小伝馬町10-1 CSSビルディング3階
TEL:03-3639-7800 FAX:03-3639-7801

1台のQ-SYS Coreに対して、複数台のLF16Q-PoEを使用する場合

1台のQ-SYS Coreに対して、複数台のLF16Q-PoEを使用する場合、DIPスイッチとIPアドレスの設定が必要となります。
DIPスイッチの設定により、コントロールするパラメーターのNamed Controlsが異なります。詳しくは下記表でご確認ください。

■DIPスイッチによるNamed Controlsの設定

1 2 3 4 5 6		
	101~116	 ON  OFF
	117~132	
	133~148	
	149~164	
	165~180	
	181~196	
	197~212	

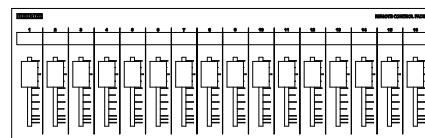
■複数台のLF-Qを接続する場合の設定方法

例) LF16Qを2台同時に接続する

- ① 1台目のLF16QのDIPスイッチを全てOFFに設定する。



LF16Qのch1で操作するNamed Controlsはdigicom_fader101
LF16Qのch2で操作するNamed Controlsはdigicom_fader102
以下同様に116までとなります。

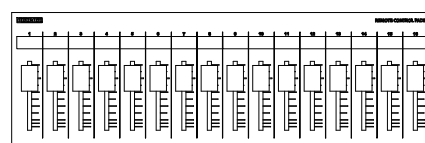


①Named Controlsが101~116に設定される

- ② 2台目のLF16QのDIPスイッチを1のみONに設定し、IPアドレスを変更する。
フェーダーのIPアドレスを変更する方法については、同封の「フェーダーのIP設定方法」をご確認ください。



LF16Qのch1で操作するNamed Controlsはdigicom_fader117
LF16Qのch2で操作するNamed Controlsはdigicom_fader118
以下同様に132までとなります。



②Named Controlsが117~132に設定される

- ③Q-SYS Core内のNamed Controlsを変更する方法は、音響特機様へお問合せ下さい。

※注意 誤動作の原因になりますので、以下の点にお気を付けください。

複数台のフェーダー間で、Named Controlsが重複しないようにDIPスイッチを設定してください。

組み合わせて使用できないDIPスイッチの例

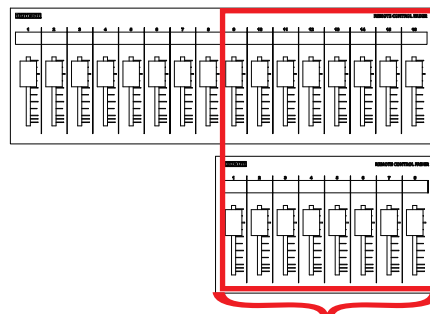
1台目のLF16QのDIPスイッチを全てOFFに設定する。

⇒Named Controls101~116を操作

2台目のLF08QのDIPスイッチを1のみONに設定する。

⇒Named Controls109~116を操作

操作するNamed Controlsが重複してしまうので使用できません。



Named Controls109~116が重複する